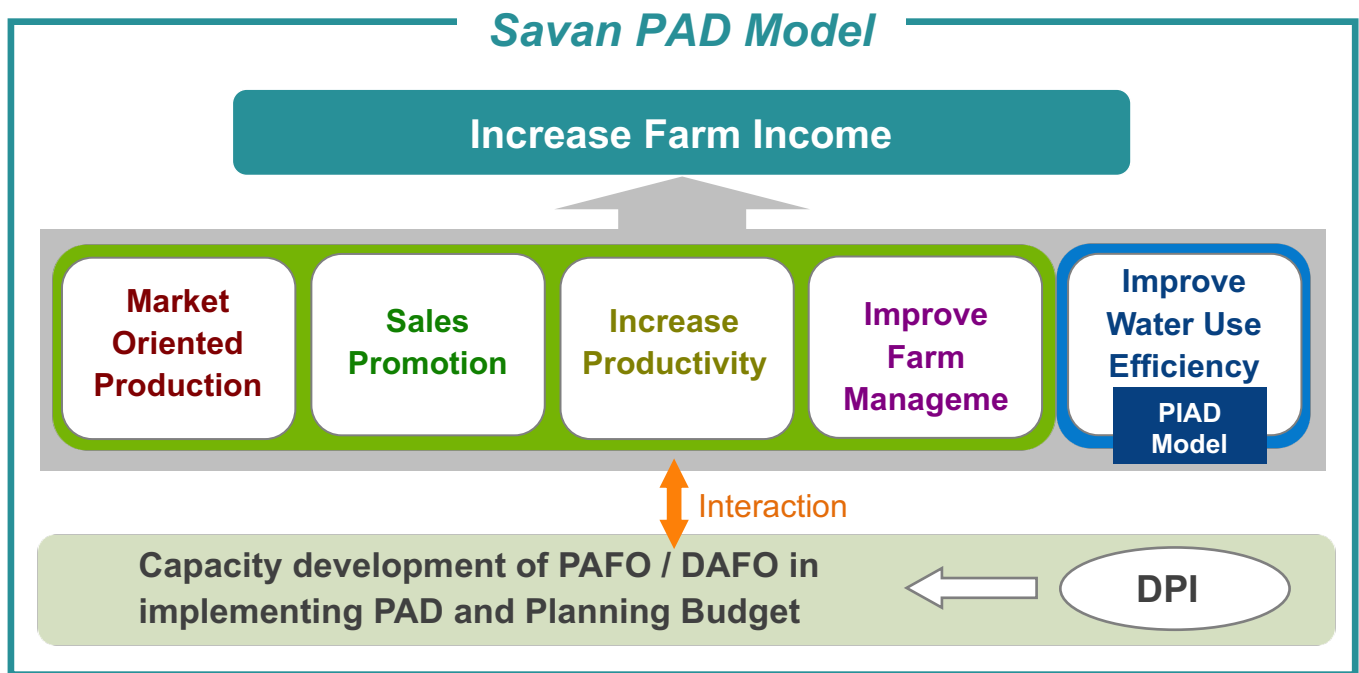


Savan PAD プロジェクトの活動方針

Savan PAD プロジェクトは 2017 年 6 月～2022 年 6 月の予定で、サバナケット県がプロジェクトの主体となって実施しているプロジェクトです。

Savan PAD では、農家の収入向上を目指し、営農 (Increase productivity)、マーケティング (Market oriented production, Sales promotion, Improve farm management)、灌漑 (Improve water use efficiency) に関する行政職員、水利組織、農家の能力強化を行っています。



①稲作の栽培技術指導

- ・過剰施肥や肥料不足、農薬の不適切な使用、不十分な病虫害対策、栽培技術の未熟さからくる減収や品質の低下などの問題への指導。

天然由来の忌避剤作成研修



②市場動向や販売収支を踏まえた栽培計画作成と実践



農家による市場調査

- ・「作るための農業」から「売るための農業」への意識醸成。
- ・市場動向の把握、収支計画・栽培計画作成指導。
- ・販売促進のための活動支援 (屋根掛け栽培や無農薬栽培の奨励、ラオスでは輸入が多いが代替可能な品種の栽培 (ズッキーニ、ダイコン、オクラなど)、野菜の栽培技術



上から、ズッキーニ、オクラ、ダイコン

③行政職員による販路開拓・販売促進支援

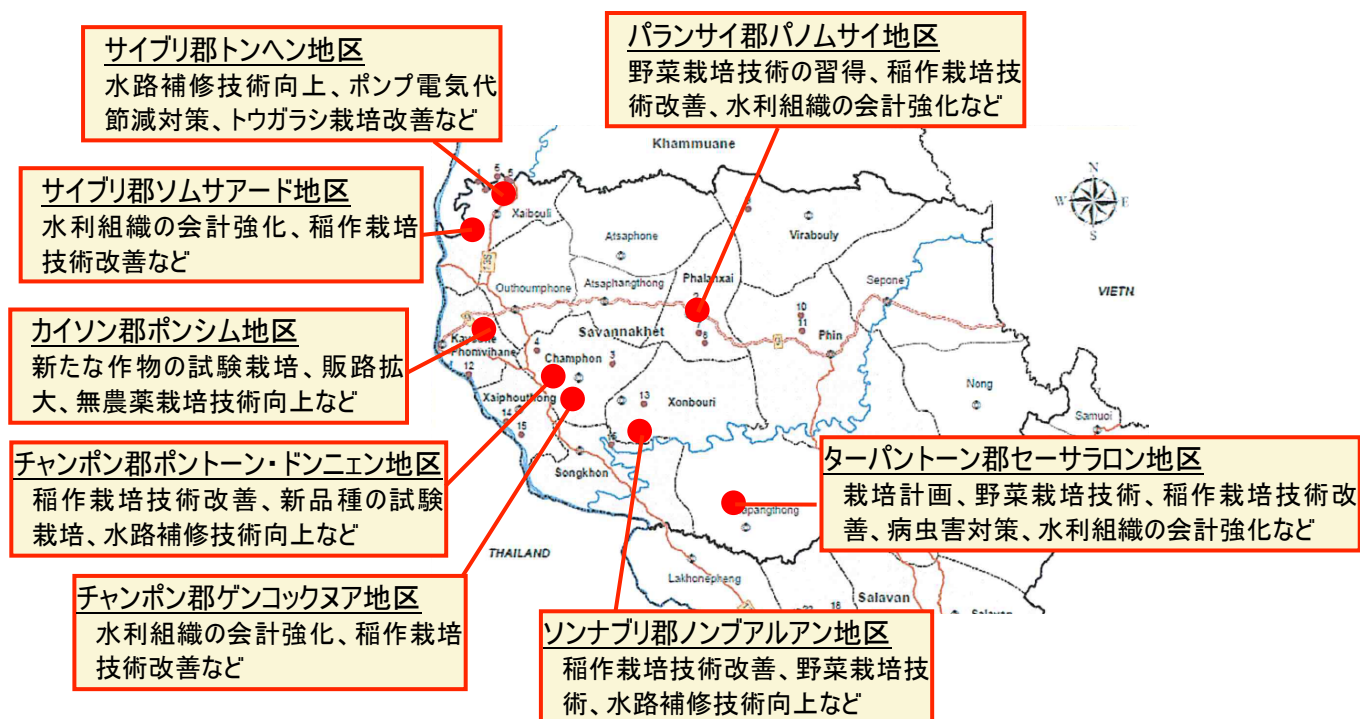
- ・農家による市場での直接販売に加え、商工局職員らが中間商社や地元企業、レストランを回っての販促活動の展開、農家とバイヤー間のマッチング促進。

④灌漑施設管理・水管理技術に関するキャパビル

- ・限られた予算、人員での灌漑施設の維持管理に関する技術指導。
- ・ポンプ稼働にかかる電気代節減のための灌漑調査、分析指導。
- ・水利組織の財政改善、水管理技術の強化などに関する技術指導。

Savan PAD プロジェクトの対象地区

2019年5月現在、サバナケット県内の6郡8地区を対象地区として活動を展開しています。



2019年内には、さらに新規地区4地区が選定される予定です。

乾季作の活動成果(予告)

現在、2018/2019年乾季作の活動成果を整理中。

これまでのところ、対象7地区合計では「灌漑面積が4割以上増えた」、ある対象地区では「今年の乾季作の水代は全て回収し、今回の灌漑ポンプ用電気代は全額支払い済み」などの状況が見えてきています。

詳細は、次号でお知らせします。



農家全員でパイプを設置中
(詳細は次号でお知らせ)